

流出解析ワーキングチーム

1. 「流出モデル」の選択のための資料作成

- 1) 代表的（一般的）流出モデルのリストアップ
- 2) それらの長所・短所の評価（流出予測への適用性など）
（そのための評価項目の整理・評価表の作成）
- 3) 複数のモデルについて、再現性などの（数値的な）比較・検討

[評価の原案作成後、本委員会に提出 ➡ 本委員会で流出モデルの選定]

（選定したモデルについて）

2. 「流出解析（モデル定数の同定）」に関わる検討

- 1) 同定に用いる既往（観測）洪水データおよび降雨データの信頼性・妥当性
・・・洪水および降雨の観測地点・流出規模・観測精度などの検討
- 2) （モデルへ入力する）有効降雨量の算定法・・・損失（一次流出率）の設定方法
- 3) モデル定数の数値の妥当性
・・・部分流域の地形特性，土地利用状況，河道条件などのモデルへの導入方法
- 4) （既往洪水の）再現精度

3. 「流出予測（例えば，100年確率洪水流量の予測）」に関わる検討

- 1) 入力する降雨データ（例えば，100年確率降雨）の選定
・・・引き伸ばし方法，時間分布，地域分布
- 2) 将来の土地利用状況の設定と，そのモデルへの導入方法
- 3) （出力された）予測洪水ハイドログラフの入力降雨条件に基づく整理
・・・本委員会での「基本高水」選定の資料として

[予測洪水ハイドログラフ（ピーク流量）一覧表の本委員会への提出

➡ 本委員会での基本高水流量の決定]